



令和7年度 5月号 令和7年5月1日

# 上原だより

渋谷区立上原小学校  
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharae>

## 「はじめの一歩」を踏み出した上原小キッズ

副校長 西村 綾乃

桜が満開に咲く中、始業式・入学式を迎えた令和7年度も、3週間が経過しました。4月は、係や当番を決めたり、学級のルールを決めたりと、学級・学年の土台づくりを行います。



左の写真は1年生の体育の授業の様子です。

1年生の体育の「授業びらき」には、準備運動の仕方、整列の仕方、「気を付け」「休め」「前ならえ」など、集団行動の基本となる動きを一つ一つ丁寧に学んでいきます。

4月中旬のある日、体育館をのぞいてみると、とても上手に整列している1年生の姿が目に飛び込んできました。一糸乱れぬ整列をしていた児童に感心してながめていると、「今からこの場所に並び直しをしてもらいます。上手に並びなおせるかな。」と問いかける担任の先生の声が聞こえました。ある子供が、「手をつないでいけばいいよ。」という声を上げました。先生の問い合わせをしっかりと受け止め、どうしたらその課題をクリアできるか見通しをもって考えた素晴らしい発言でした。



しかし担任は、一度列を崩して集合し、話をした後再び並び直しの指示を出しました。子供たちは、声を掛け合い整列しようとします。しかし「前ならえ」の号令がかかると、上手に距離がとれずに、ぶつかってしまう人、狭くて腕が伸ばせない人、後ろを向いて、「下がって」と声をかける人…と、スムーズに並べません。大人にしてみれば、簡単な「整列」ですが、子供たちにとってはそう単純ではないのです。子供たちはこのような経験を通して、様々なことが上手にできるようになっていきます。

5月24日(土)の「上原スポーツフェスティバル」で、成長した姿をご覧いただけるのが楽しみです。



### 【1年センパイの学び】

生活科の学習で2年生が1年生に学校案内をします。自分たちで事前にインタビューした内容を、1年生に分かるように伝えます。「ここは先生たちがお仕事する部屋だから入っちゃいけないよ。」と言いながら職員室をのぞき込み、情報収集をするグループ。本番を想定して、どのように伝えたら良いか台本を読んで練習するグループ。どの子も真剣です。本校は今年度「国語」の研究に取り組みます。相手意識をもって、分かりやすく伝えることの大切さを低学年から学んでいきます。